

# 令和5年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和4年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	SENBOKUスマートシティ構想推進事業			事業番号	016-006
担当部署名	泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	部	スマートシティ担当 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続ける機能の充実			
			有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3	
			有	取組	市民のQOLを高めるスマートシティの推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	SENBOKU New Design（本市策定）、堺スマートシティ戦略（本市策定）			
3	事業開始年度	令和 4 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	泉北ニュータウンを含む南区域（南区人口約14万人）	対象数	単位	
			140,000	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	泉北ニュータウン地域において、公民連携でICTを活用しながら、分野横断的に地域課題の解決などに取り組み、人々が暮らしの質を高め（Live SMART）、暮らしを愉しむ（Play SENBOKU）ことで地域に新たな価値を創造することを目的とする。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>(事業概要) 公民連携により、生活利便、居住魅力向上に向け、モビリティやヘルスケア等さまざまな分野におけるサービスを楽しむ環境を形成する。</p> <p>(取組内容) サービスプラットフォームの形成に向け、プラットフォームに接続可能なサービスの実証及び実装の支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域限定の公民連携のコンソーシアムの形成</li> <li>○地域におけるシェアモビリティなど新たな仕組みの社会実装に向けた実証事業</li> </ul>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	民間事業者			
10	公民連携・協働事業	公民連携事業			

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	39歳以下人口比率（各年12月末） (社会情勢から減少は避けられないが、推計値より減少を抑える)	%		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
			目標値	-	30.5	29.9	30.5
			実績値	-	29.9		
	達成率	-	98%				
当該指標を選定した理由	泉北ニュータウン外への転出超過が39歳以下の世代で顕著に表れているため						
目標値の設定根拠・算出方法	39歳以下の人口比率は年々減少し、2025年の推計は29.5%になることが見込まれ、1%上回る30.5%を目標とする。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	実証事業、実装事業数	件		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標値	-	3	5	
			実績値	-	11		
	達成率	-	367%				
当該指標を選定した理由	先導的の実証事業の実施によりスマートシティの取組を進め、エリアブランドの向上と若年層を中心とした人口誘導をめざすため。						
目標値の設定根拠・算出方法	令和4年6月に設立した「SENBOKUスマートシティコンソーシアム」における実施事業を想定						

## 令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	SENBOKUスマートシティ構想推進事業	事業番号	016-006
-------	----------------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	0	0	16,000	9,500	16,000
13 財源内訳					
国支出金			8,000	4,750	8,000
府支出金					
市債					
その他 ( 寄付金 )				4,745	
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源			8,000	5	8,000
14 人件費 (b)	0	0	24,600	22,960	24,300
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	0	40,600	32,460	40,300

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	負担金 (コンソーシアム)	R4 決算	9,500	5		R4	決算	
		R5 予算	16,000	8,000		R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		-	11
② 上記①にかかる年間経費	千円	-	32,460
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		2,950,909
備考 (算出についての説明等)			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>令和4年度の実証事業件数は実施に行ったものが11件であり、民間事業者からの提案を受け検討及び調整を行った事業件数はさらに多い。民間事業者が持つ知見やサービスを地域課題の解決等に生かす本事業の特性として、このように数字に表れにくい稼働があることも一定避けられないと考える。一方で財源として地方創生推進交付金が確保されており、また企業版ふるさと納税による寄附金収入があったことから、令和4年度の一般財源ベースでの費用対効果は高いものとなっている。</p>
----	--

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>令和4年6月に「SENBOKUスマートシティコンソーシアム」を設立。参加団体は設立当初の102団体から139団体まで増加 (3月28日現在) しており、民間企業を中心に多方面から注目されている。また、コンソーシアムが起点となり令和4年度に実施した実証事業は11件あり、泉北ニュータウン地域において様々なスマートシティの取組が進めれている。こうしたことから泉北ニュータウン地域において、公民連携により地域の課題解決と新たな価値の創造に取り組むことで地域ブランドが醸成され、若年層を中心とした人口誘導につながるものとする。</p>
----	--